

ルードウィヒ／神々の黄昏（1972）

LUDWIG

メディア 映画

ジャンル ドラマ 伝記

製作国 イタリア／西ドイツ／フランス

色彩 Color

時間 184分

初公開日 1980/11/08

公開情報 東宝東和

【解説】

狂王と呼ばれたバイエルン国王ルードウィヒ二世は、19歳で玉座につき、その美的趣味を国費でもって究めたいけない人。ワグナーのパトロンになって、言われるがままに金を出し、オペラ劇場を作るわ、自分でも三つのお城を建てて、その一つ、リンダーホフ城には地下に人工池造って白鳥のゴンドラうかべてるし……。そんな贅沢三昧そのままに、映画はそれら本物を使ったり、再現して、もう垂涎の絵巻物を繰り広げる。けど、ルードウィヒは寂しいのだ。最愛の従姉エリザベート（R・シュナイダーの白鳥に跨る姿の美しさ！）は人の妻（オーストリア皇后）。その妹ソフィと結婚するはずが、やっぱ諦め切れなくて婚約破棄。以後はただもう、そんな享楽生活に身も心も捧げて歯も腐るほど。親しい人（含む愛人の男たち）みんなに逃げられて、結局“ご乱心”とされ幽閉。暗殺だか自殺だか判らぬ死を迎える。製作会社を倒産に追い込み、自分は卒中に倒れても完成させた大作だが規模だけでなく、その精神の気高さ、深い教養、美への執着において、このような映画は二度と作られまい。これをヴィスコンティは、主演のお稚児さん、H・バーガーを役者として大成させるために作ったってえんだから、侯爵さまのなさることはスケールが違う。彼のドイツ三部作（「地獄に堕ちた勇者ども」「ベニスに死す」）の終幕を飾る作品で、その死後、本作の回想形式をとらない完全版（220分余）がM・マストロヤンニの弟ルッジェロの編集によって作られた。

【クレジット】

監督	ルキノ・ヴィスコンティ	Luchino Visconti	
製作	ディエテール・ガイスラー	Dieter Geissler	
	ウーゴ・サンタルチア	Ugo Santalucia	
製作総指揮	ロバート・ゴードン・エドワーズ	Robert Gordon Edwards	
脚本	ルキノ・ヴィスコンティ	Luchino Visconti	
	エンリコ・メディオーリ	Enrico Mediolì	
	スーゾ・チェッキ・ダミーコ	Suso Cecchi d'Amico	
撮影	アルマンド・ナンヌッツィ	Armando Nannuzzi	
編集	ルッジェロ・マストロヤンニ	Ruggero Mastroianni	
音楽	フランコ・マンニーノ	Franco Mannino	
出演	ヘルムート・バーガー	Helmut Berger	ルードウィヒ
	ロミー・シュナイダー	Romy Schneider	エリザバート
	トレヴァー・ハワード	Trevor Howard	ワグナー
	シルヴァーナ・マンガーノ	Silvana Mangano	コジマ
	アドリアーナ・アスティ	Adriana Asti	ブリウスキ
	ソニア・ペトロヴァ	Sonia Petrova	ソフィ
	ジョン・モルダー＝ブラウン	John Moulder-Brown	オットー

マルク・ポレル
ゲルト・フレーベ
ウンベルト・オルシーニ
ヘルムート・グリーム
ノラ・リッチ
マーク・バーンズ

Marc Porel
Gert Frobe
Umberto Orsini
Helmut Griem
Nora Ricci
Mark Burns

ホーニグ
ホフマン神父
ホルンシュタイン
デュエクハイム